

新潟県薬剤師会 薬剤師ボランティア活動報告書

班名	B 班	報告日	平成23年 4月 10日
報告者氏名	向井 勉	同行者氏名	
活動期間	4月 4日 ~ 4月 7日	宿泊場所	石巻高等学校
活動拠点	石巻高等学校	ジャンプへの掲載	掲載してもよい
交通手段	自家用車		
主な活動 (簡潔に)	石巻高校仮設石巻診療所における調剤、牡鹿半島における避難所の確認ならびにOTCなどの配布		

<活動の内容>

4月4日

新潟を自家用車にて朝6時に出発、山形市においてガソリンを満タンにし仙台の宮城県薬剤師会に入りました。派遣先の簡単な説明があり15分ほどで石巻高等学校に向かいました。高速道路は一部段差があったり片側通行の箇所がありました。スムーズに流れていました。石巻市内に入ると渋滞がひどく12時ごろ現地に到着となりました。到着後石巻高校の施設案内として診療所、薬剤師本部、避難所などを確認し午後から石巻高校における仮設診療所の調剤業務に当たりました。簡単なA5用紙に患者問診内容と医師による手書きの処方箋が記載され調剤を行うのですが、各地から運び込まれた医薬品のために、ジェネリックと混在していたり規格が一部しかないなどの状況でしたが、薬剤師の判断で処方内容について医師に提言しながらの調剤となりました。処方の多くは急性期のものですが、被災して3週目になり高血圧薬など慢性期の処方も出始めていました。夜はミーティングののち10時ごろ消灯。

4月5日

二日目は未開拓の牡鹿半島の避難所の確認が私のチームの担当でした。香川県薬剤師会の薬剤師2名と地理や通訳として地元薬剤師会のファックスコーナーに務める方の4名での行動となりました。OTCを積み込み野々浜への配達を含めて牡鹿半島を東から横断し先端まで約50kmの山道の走行となりました。道路状況は自衛隊により一応通行可能ではありましたが段差、ひび割れ、落石などもあり通行止めの道路もあったことで危険な状態ではありましたが、リアス式海岸の入り江ごとに集落がありそれぞれの集会場、役場のほかに火葬場なども避難所として使われていて、民家に26名が避難しているところまでありました。自衛隊がすでに入っているため生活物資、食糧は潤沢にありましたが、医薬品についてはOTCが一部しかない状態で多くの要望を頂きました。花粉症、下痢、便秘、鎮痛剤、風邪薬など多岐にわたりましたが、各避難所により要望が違いましたのでしっかりと聞き取りを行い、手持ちのOTCで足りないものは翌日配達することとしました。鮎浜集落を中心に7、8か所の避難所を確認し石巻にもどりました。夜はミーティングののち10時ごろ消灯。

4月6日

鮎浜への配達のほか牡鹿半島における未開拓の避難所確認作業を千葉県薬剤師会の2名と地元の方と4名で昨日に続き行いました。大原地区においては5か所程度の避難所を確認、前日同様の聞き取りを行いました。2日間で牡鹿半島の西側はほぼ全域にわたり避難所を確認でき、薬剤師会本部となる石巻高校の連絡先などを伝えることができました。石巻高校に戻ってから石巻の避難所を3か所訪問しOTCなどの備蓄状況の確認、健康状態の問題がないかの確認を行い終了しました。

4月7日

四国からのチームの到着を確認してから帰路につき午後3時に新潟県薬剤師会に戻りました。

感想

薬剤師が医療と生活の隙間を埋める大切な役割であることを実感いたしました。薬剤師としてはOTCについての知識が浅い薬剤師が多く、一般的な家庭には必ずあるOTCについての知識経験が不足していると感じました。また、各避難所を回って被災者の皆様が明るく生きる希望を持っていらっしゃることに代わって私たちがの方が勇気づけられたことがとても心に残った4日間でした。